

歴代の研究所長

難治疾患研究所は、太田伸一郎初代所長の下、難治疾患の研究を目的に設置されました。
現在までに13人の所長が誕生し、難治疾患研究の発展に努めています。



難治疾患研究所初代所長

太田伸一郎

(おた・しんいちろう)

在任期間：1973年～1977年



秋吉正豊

(あきよし・まさとよ)

在任期間：
1977年（難治疾患研究所長事務取扱）
1977年～1978年（難治疾患研究所長）



柳澤文徳

(やなぎさわ・ふみよし)

在任期間：1978年～1984年



外村 晶

(とのむら・あきら)

在任期間：1984年～1987年



岡本良平

(おかもと・りょうへい)

在任期間：1987年～1992年



中島 熙

(なかじま・ひろし)

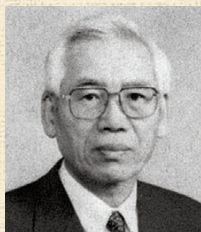
在任期間：1992年～1995年



佐久間 昭

(さくま・あきら)

在任期間：1995年～1996年



谷口郁雄

(たにぐち・いくお)

在任期間：1996年～2002年



山本興太郎

(やまもと・こうたろう)

在任期間：2002年～2005年



野田政樹

(のだ・まさき)

在任期間：2005年～2009年



北嶋繁孝

(きたじま・しげたか)

在任期間：2009年～2014年



石野史敏

(いしの・ふみとし)

在任期間：2014年～2020年



仁科博史

(にしな・ひろし)

在任期間：2020年～